

# 海上自衛隊遠洋

## 練習航海に寄せて

小山満之助 陸士60

編集委員 筆者の小山氏は、陸士60期、京浜急行電鉄副社長、横須賀商工会議所副会頭等を歴任され、平成15年から防大協力会全国連絡会会長を務めておられ、陸・海・空の防大OBに知己が多い方である。

令和元年度海上自衛隊の伝統ある遠洋練習航海部隊が、平成31年3月16日、江田島を出航し、環太平洋方面への航海に船出した。そもそも本遠洋航海は昭和33年に実施され、以来連続として継続実施され、今回で63回目を迎えた。その目的は、初級幹部に対し艦上訓練を通じ、真の Seamanship を体得させ、我が国及び海上自衛隊の現状を認識させるためである。

練習艦隊は、自衛艦隊、地方隊、教育航空集団と並び、自衛隊法に明文規定のある防衛大臣直轄部隊であり、練習艦隊司令官は防衛大臣から直接、指揮監督を受ける。練習艦隊司令部は呉基地におかれており、司令官は海将補をもって充てられている。

間は、平成31年3月16日から令和元年10月24日。指揮官は練習艦隊司令官の梶本大介海将補（防大32期）で、艦隊は、練習艦艇「かしま」と「やまゆき」、護衛艦「いなづま」で編成される。人員は、第69期一般候補生課程修了者190名（うち女性23名、タイ王国留学生1名）と乗組員を含め700名からなる。

行動予定として、平成31年3月16日江田島を出航。各総監部所在の佐世保大湊、舞鶴、呉、横須賀基地における国内訓練を経て、令和元年5月21日横須賀基地を出航。ハワイ、サンディエゴ、北米、南米、オセアニア主要国のオークランド、シドニー、ラバウル、パラオ、グアム等11カ国、13カ所に寄港して、国際親善の役目を果たし、令和元年10月24日横須賀基地に帰国する。

期間247日、航程2万6千マイル（約4万8千キロメートル）。

本稿がお手元に届く8月初旬頃には、艦隊はベルーを出航して仏領ポリネシアに向けて航行中と思われる。

国内最後の横須賀では、恒例により、壮行会を5月7日、市内のホテル平安閣で盛大に挙行了した。

主催者は横須賀市、市議会、防衛協会、商工会議所、海上自衛隊総監部の5者。出席者は実習幹部、海上自衛隊

OB、防衛団体会員、地元有志等約350名。定刻18時30分に特別に選別され乗艦する20名の音楽隊員が演奏する軍艦マーチに合わせ、練習艦隊司令官、幕僚を先頭に実習幹部が入場。直ちに開式、国歌斉唱、主催者代表の市長の歓迎挨拶、司令官に花束贈呈、続いて司令官の挨拶と詳細説明があった。

その中で、司令官自身初任幹部として平成元年に遠洋航海に参加、30年後の令和元年に指揮官として参加するという不思議な巡り合わせに、任務の完了を誓ったのが印象的であった。

次に市長より寄港地市長への記念メッセージの伝達、更に横須賀出身の実習生幹部の挨拶をもってセレモニーを終了、祝宴に移った。

乾杯は会議所会頭、歓談2時間余。予定の20時30分、防衛協会会長小山（筆者）の萬歳三唱で閉会した。

思うに本壮行会の主役は、江田島を卒業し、3等海尉に昇任したばかりの新進気鋭の若者達であり、その凛々しくも逞しい姿に、我が国の将来を託し得るを確信した次第である。

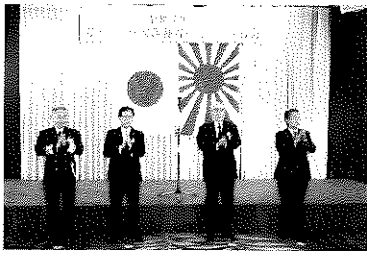
**写真説明** 1 壮行会全景 2 颯爽たる新任士官 3 主催者団体（右から上地横須賀市長、小山防衛協会会長、平松商工会議所会頭、渡邊海自横須賀地方総監）



1 壮行会全景



2 颯爽たる新任士官



3 主催者団体